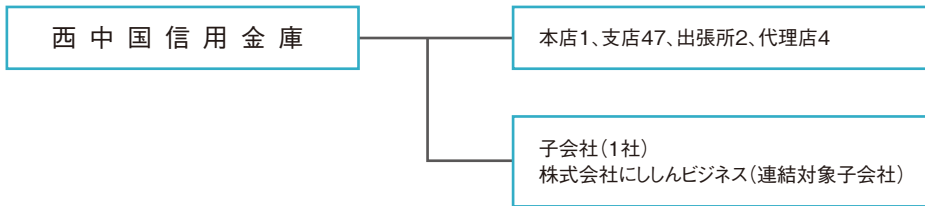


■子会社の状況

■西中国信用金庫グループの主要な事業の内容

西中国信用金庫グループは、当金庫、子会社1社で構成され、信用金庫業務を中心に、現金輸送及び文書等の集配送業務、事務の代行業務などの金融サービスを提供しております。

■信用金庫グループ組織図



■子会社の状況

名 称	株式会社にしんビジネス
所 在 地	山口県下関市豊前田町三丁目1番14号
資 本 金	10百万円
事 業 の 内 容	現金輸送及び文書等の集配送業務、事務の代行業務、信用金庫代理業
設 立 年 月 日	平成4年8月21日
当 金 庫 の 議 決 権 比 率	100%
子 会 社 等 議 決 権 比 率	—

■事業の概況

わが国経済は、大企業・大都市を中心とした景気回復を背景に上向いているものの、地方における人口減少・少子高齢化、事業所の減少の進行が、地域経済の成長に大きな影響を与えています。こうした地域経済の疲弊や、マイナス金利政策の継続による金利競争により、金融機関は、本業での収益力低下が深刻化しています。

このような環境のなか、収益性の改善に向け、経費の削減、営業体制の強化による生産性の向上に取り組むとともに、子会社機能の有効活用を進めてまいりました結果、当連結会計年度の業績は次のとおりとなりました。

■主要勘定

預金は、金利の低位推移に伴う定期預金の取り崩しや、預かり資産等へのシフトなどにより、期中73億円減少して期末残高は5,301億円となりました。

貸出金は、事業者向け、個人向けともに積極的に推進した結果、期中64億円増加して期末残高は2,729億円となりました。

なお、総資産については、預金の流出と37億円の赤字発生により、期中112億円減少して5,539億円となりました。

■損 益

子会社は当金庫の従属業務会社であり、修正消去仕訳により連結経常収益64億28百万円、連結経常費用90億11百万円となりました。

この結果、連結上の経常損益は、有価証券利息配当金の減少、国債等債券償還損の発生や不良債権処理費用の増加などにより、前期比28億18百万円減少して25億83百万円の損失となりました。

また、当期純損益については、固定資産の減損処理などにより、前期比38億43百万円減少して37億32百万円の損失となりました。